文学国語　単元指導計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 令和〇年〇月〇〇日（〇） | 場所 | ２年○組教室 |
| クラス | ２年〇組（〇〇人） | 授業者 | ○○　○○ |
| 科目名 | 文学国語 | 単元名 | 文学的文章の創作 |
| 使用教材 | 「物語のおわり」（湊かなえ） | 使用教科書 | 文学国語（数研出版） |
| 教材観 | 本教材は、短編小説『空の彼方』という結末が書かれていない作品を読んだ主人公「僕（＝拓真）」が、自分自身の厳しい境遇と『空の彼方』の主人公「絵美」の境遇を比較し、自分なりに『空の彼方』の結末を創作するという内容である。拓真の状況や心情を正確に整理することが読解のカギであると考える。また、『物語のおわり』という小説は、『空の彼方』を複数の登場人物が読んで、それぞれが自身の境遇と関連させて『空の彼方』の結末を書くというリレー形式の話である。『空の彼方』という作品は、絵美が婚約者と結婚して家業を継ぐか、上京して作家になるという夢を叶えるかという葛藤を抱えていることが書かれているが、書かれている情報だけでは結末までは予想できず、どのような結末を想像するかは読者に委ねられている。 |
| 生徒観 | 文学が好きな生徒が多く、自らの考えを活発に交流する様子が多く見られる。わからない問題があっても、自分なりに答えを考えて記述したり、自発的に教え合ったりすることができる。「書くこと」ついては、前の単元で小説の構成や展開を学ぶためにプロット書きをした。自身の考えを書くことを苦手とする者や、漢字や文法を間違えて記述する者もいるので、補助は必要である。 |
| 指導観 | 本単元では、登場人物の状況や心情を正確に整理させることで、どのような経緯で拓真が『空の彼方』の結末を書いたのかを生徒に考えさせたい。また、心情読解には登場人物の状況を押さえて読むことが重要であると理解させたい。言語活動においては、ChatGPTが生成した小説の結末を推敲する活動を通して、物語の構成や展開、表現の仕方について吟味したり、一つの作品として文章全体を整えたりする力をつけたい。 |

１　単元の目標

1. 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解できる。　　　　　　 〔知識及び技能〕(1)ア
2. 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ア

1. 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりすることができる。　　　　　　　　　　　 〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)エ
2. 本文を読み取ったり、『空の彼方』の結末を推敲したりすることを通して、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、粘り強く文章全体を整え、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題などを捉え直そうとする。　　　　「学びに向かう力、人間性等」

２　単元の言語活動

「推敲ポイント」を意識して、ChatGPTが生成した『空の彼方』の結末を推敲し、相互評価する。

（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕A(2)イ）

３　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 1. 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。　　　　((1)ア)
 | 1. 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。

(B(1)ア)1. 文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりしている。　　　　(A(1)エ)
 | 1. 本文を読み取ったり、『空の彼方』の結末を推敲したりすることを通して、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、粘り強く文章全体を整え、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題などを捉え直そうとしたりしている。
 |

４　指導と評価の計画（全６時間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 主たる学習活動 | 評価する内容 | 評価方法 |
| １ | ・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。〇本文を通読し、初読の感想や疑問点を記入する。 | 〔知識・技能〕① | 「記述の分析」 |
| ２ | ・第１段落の読解 | 〔思考・判断・表現〕① | 「記述の分析」 |
| ３ | ・第２段落の読解 | 〔思考・判断・表現〕① | 「記述の分析」 |
| ４ | ・第３段落の読解 | 〔思考・判断・表現〕① | 「記述の分析」 |
| ５ | ・第４、５段落の読解〇『空の彼方』を読む前と、最後の場面とで「僕」の心情がどのように変化したかを読み取る。 | 〔思考・判断・表現〕① | 「記述の分析」 |
| ６本時 | 〇「推敲ポイント」を意識して、ChatGPTが生成した『空の彼方』の結末を推敲し、相互評価する。 | 〔思考・判断・表現〕②〔主体的に学習に取り組む態度〕① | 「記述の分析」 |

【単元の流れ】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準・評価方法等 |
| １ | ・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。〇本文を通読し、初読の感想や疑問点を記入する。 | ・本単元では、登場人物の状況を整理することが重要であると指示する。・初読の感想や疑問点は多く書くように指示する。疑問点は次時以降に解消させられるように指導していく。 | 〔知識・技能〕①「記述の分析」振り返りシート |
| 2 | ・第１段落の読解 | ・「絵美」や「僕」の状況を整理させる。 | 〔思考・判断・表現〕①「記述の分析」授業プリント |
| 3 | ・第２段落の読解 | ・「僕」の状況と葛藤を読み取らせる。 | 〔思考・判断・表現〕①「記述の分析」授業プリント |
| ４ | ・第３段落の読解 | ・「僕」の状況と心情を読み取らせる。 | 〔思考・判断・表現〕①「記述の分析」授業プリント |
| ５ | ・第４、５段落の読解 | ・「僕」の心情変化を読み取らせる。 | 〔思考・判断・表現〕①「記述の分析」授業プリント |
| ６本時 | 〇「推敲ポイント」を意識して、ChatGPTが生成した『空の彼方』の結末を推敲し、相互評価する。 | ・推敲と相互評価の際に「推敲ポイント」を意識させる。 | 〔思考・判断・表現〕②「記述の分析」授業プリント〔主体的に学習に取り組む態度〕①「記述の分析」振り返りシート・振り返りシートの内容から、本単元を通して生徒が学んだことを分析する。 |

≪本授業における評価の実際≫

５　観点別学習状況の評価の進め方

(1)［知識・技能］の評価

[知識・技能]①の「言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している」状況を、本文の登場人物の心情を正しく読み取っている姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、授業プリントへの記述を点検して評価する。

本文の読み取りができていない状況をCと捉え、個別に声をかけて、ヒントとなる本文の記述を示したり、語句の意味を隣同士共有したりするなどし、読み取りを行うよう促す。

(2)［思考・判断・表現］の評価

[思考・判断・表現]①の「文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている」状況を、本文の登場人物の心情を正しく読み取っている姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、授業プリントへの記述を点検して評価する。また、本文の読み取りができていない状況をCと捉え、個別に声をかけて、「心情を読み取るポイント」を示して読み取りを行うよう促す。

[思考・判断・表現]②の「文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりできている」状況を、『空の彼方』の結末について書かれた文章を推敲する場面において、「推敲ポイント」の特に「ステップ１」を踏まえて推敲できている姿（「おおむね満足できる状況」(B)）と捉え、推敲の記述を分析し評価する。また、「推敲ポイント」を意識して『空の彼方』の結末について書かれた文章を推敲できない状況をCと捉え、助言したり具体的な例文を示したりして書けるように促す。

(3)［主体的に学習に取り組む態度］の評価

[主体的に学習に取り組む態度]①の「本文を読み取ったり、『空の彼方』の結末を推敲したりすることを通して、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、粘り強く文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題などを捉え直そうとしたりしている」状況を、学習によって得られた知識や技能を記述できている姿（「おおむね満足できる」状況(B)）と捉え、振り返りシートの記述や自己評価を分析し評価する。

本単元を基にした気づきや学びがまとめられず、努力を要すると判断する状況をCと捉え、振り返りシートの評価項目を参考に、単元を通して気づきや学びがどこかにないか探るよう促す。

６　学習指導案(６時間目/全６時間)

本時の目標：ア　文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整え、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題を捉え直したりできる。〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)エ

　　　　　　イ　本文を読み取ったり、『空の彼方』の結末を推敲したりすることを通して、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、粘り強く文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題などを捉え直そうとしたりしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　〔主体的に学習に取り組む態度〕

言語活動：「推敲ポイント」を意識して、ChatGPTが生成した『空の彼方』の結末を推敲し、相互評価する。

本時の展開：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点・評価 |
| 導入５分 | □本時の目標の確認 | ・本時はChatGPTの回答した『空の彼方』の結末部分を推敲するということを理解する。・伝えたいことが伝わるような文章にするためには、「推敲ポイント」を意識して書くことが重要であると理解する。 | ・「推敲ポイント」はワークシートに示す。 |
| 展開①１５分 | ◎推敲 | ・「推敲ポイント」を意識して、『空の彼方』の結末部分を推敲する。 | ・ChatGPTが生成した回答をもとに授業者が用意した。プロンプトは後記の通り。 |
| 展開②２０分 | □相互評価し、その後文章全体を整える。 | ・「推敲ポイント」をもとに相互評価する。・相互評価の内容や他者の文章をもとに、改めて推敲する。・推敲の仕方について共有する。 | ・評価欄に記述させる。【目標アに対する評価規準と評価方法】規準：評価の内容をもとに、文章全体を整えることができている。方法：「記述の分析」（授業プリント）〔目標ア達成のための手立て〕・MetaMoJi ClassRoomのモニタリング機能を使い、生徒の記述を観察し、机間指導で助言する。・MetaMoJi ClassRoomの発表者機能を使って、よくできている生徒に推敲の仕方を発表させる。 |
| まとめ１０分 | □振り返りシートの記入とまとめ | ・振り返りシートを記入する。・本時のまとめを聞く。 | 【目標イに対する評価規準と評価方法】規準：本文を読み取ったり、『空の彼方』の結末を推敲したりすることを通して、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、粘り強く文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特徴や課題などを捉え直そうとしたりしている。方法：「記述の分析」（授業プリント）〔目標イ達成のための手立て〕・振り返りシートで助言する。 |

参考：授業者のプロンプト①

【プロンプト】

【本文】の後に続く文章を、【展開】のような内容で、 会話文や情景描写なども入れて、1000字以上で書いてください。

【展開】

絵美は東京に行くことを諦めて地元でパン屋を営みながら、作家の活動もはじめ、作家として成功する。

【本文】

山間の田舎町で生まれた絵美。両親はともに家業のパン屋で忙しいうえに、絵美自身は修学旅行の前日に熱を出したりと、狭い町から一度も出ることなく、毎日を過ごしている。しかし、絵美には想像力があり、友人を介して推理小説と出会ったことから、自身も小説を書き始める。その作品が時を経て、人気作家、松木流星の目に留まり、弟子にしてやるから東京に出て来い、と夢のような転機が訪れるが、時すでに遅し。絵美には婚約者がおり、両親も絵美が作家になることより、婚約者と結婚して家業を継いでくれることを望んでいる。作家になる夢を一度はあきらめようと決心した絵美。しかし、思いを捨てきることはできず、上京するため誰にも内緒で駅へと向かう。しかし、そこには絵美を待ち構えていたかのように、婚約者の姿があった──。

ChatGPT3.5の回答①

夕暮れの光が町を包み込む中、絵美と婚約者の間には緊張が立ち込めていた。

「絵美、君が東京に行くこと、本当に考えてみたのかい？」

絵美はしばらく黙って、空を見上げた。その間、町の喧噪と穏やかな風が交錯している。

「でも、私、小説を書きたいの。」

「それは分かるけど、でも家族もお店もあるんだよ。君が行ったら…」

「私だって分かってる。でも、このままじゃ夢を追うことができない。」

婚約者は深い溜息をついて、絵美の肩に手を置いた。

「君の夢は大切だよ。でも、夢と現実は両立することもある。」

「でも…」

「俺たちで協力し合って、一緒に未来を切り開こう。君が幸せなら、それが俺の幸せだから。」

絵美の瞳には涙が宿っていた。優しく微笑む婚約者に、絵美は頷いた。

「ありがとう、君。私たちで一緒に頑張ろう。」

そうして、絵美は東京への旅立ちを諦め、地元のパン屋での生活を再び選びました。

新しい一日が始まる中、絵美は店の前で小説のノートを手にしていた。挫折した夢を諦めることなく、地元の風景や人々の物語を綴り始めるのだ。

（心の中で）「小説を書くことができれば、東京じゃなくてもいいんだ。」

彼女の手がノートに触れる瞬間、村の住民たちが朝の挨拶を交わしにやってきた。

「絵美ちゃん、おはよう。今日も美味しいパンを作ってくれるのかしら？」

「もちろんですよ。新しいレシピも考えています。」

その笑顔は、地元の人々を和ませ、パン屋が一層賑やかになる原動力となった。

参考：授業者のプロンプト②

続きは？

ChatGPT3.5の回答②

翌日、町の人たちは絵美のパン屋に集まり、新作のパンを試食しました。

「絵美さん、これすごく美味しい！」

「なかなかやるじゃないか、絵美ちゃん。」

「ありがとうございます。これからも新しい味を提供していきますね。」

一方で、絵美は店を閉めた後、夢を諦めないでいいのか、迷いながらも執筆を再開しました。

（ノートに向かって）「夢を追い求めることは素敵だけど、今の生活も大切にしなくちゃ。」

村の中の小道を歩きながら、彼女は住民たちの笑顔や街の風景を感じながら小説を進めていきました。

ある日、町の書店で絵美の小説が目に留まった書店員が声をかけます。

「これ、地元の作家さんの作品なんだってね。」

「ほんとうに？」

「そう、評判も上々で、東京の出版社が注目しているんだよ。」

その情報が口コミとなり、絵美の小説は町の人々から支持を受け始めました。

「絵美さん、すごいね。東京に行かなくても、地元で成功できるんだね。」

「ありがとう。これも地元のみんなのおかげだよ。」

村の中の小さな本屋に、絵美の小説が並び始めたことで、彼女の名声は着実に広がっていきました。

その後、地元新聞の取材を受け、絵美の物語は町の誇りとなりました。

町のモットーは「小さな場所から大きな夢が広がる」。絵美は村の誇りとして、夢を追い求めることができ、同時に地元の暖かいコミュニティを築いていったのでした。

参考：授業者のプロンプト③

続きは？

ChatGPT3.5の回答③

絵美の小説は次第に広く評価され、地元だけでなく他の地域にも知れ渡りました。

出版社からのオファーも舞い込み、地元の小さな書店から全国の書店に彼女の作品が並ぶようになりました。

ある日、再び松木流星が現れ、彼女を訪ねてきます。

「君の小説を読んだよ。すごい才能があるね。」

「ありがとうございます。でも、東京に行くことは諦めたんです。」

「場所は大切じゃない。才能があるなら、どこにいても輝ける。」

その言葉に心打たれた絵美は、再び東京に行くことを決意します。

「ありがとう、師匠。でも、地元の人たちと一緒にいたい気持ちもあるんです。」

「それは大切なことだ。でも、君の可能性を追求するのも良いことだよ。」

絵美は、地元で愛されるパン屋としての生活と、作家としての活動を両立させ、新たな人間関係や経験を得ながら、ますます成長していきました。

ある日、絵美は町の子供たちに小説のワークショップを開くことにしました。

「夢を諦めないで、自分の想像力を信じてみて。」

子供たちが楽しそうに物語を作り始める中、絵美は自身の経験を通じて、地元コミュニティに夢を広げる一翼を担っていたのでした。

絵美の物語は、小さな町から広がり、新たな冒険と可能性が詰まった章が続いていきました。